

令和8年3月11日（水曜日）  
予算決算委員会経済観光分科会  
第4委員会室

出席委員

有馬剛朗、大西陽介、阿野れい子、三輪敏之、  
仁野央子、井川一善、杉本博昭、神頭敬介、  
岡部敦吏

【経済観光委員会（農林水産環境局）の審査】

開会 11時11分  
農林水産環境局 11時11分  
送付議案説明

- ・議案第1号 令和8年度姫路市一般会計予算
- ・議案第2号 令和8年度姫路市卸売市場事業特別会計予算
- ・議案第13号 令和7年度姫路市一般会計補正予算（第8回）

質疑 11時31分

（質問）

豊かな漁村創生支援事業について、令和8年度も引き続き有機肥料の海底散布を行うようであるが、散布場所についてはどのように考えているのか。

（答弁）

散布場所は事業主体である活動組織が決定するものであるが、散布した肥料は徐々に溶け出すことから、令和7年度に散布した場所での効果の有無について、今後、活動組織からの報告を検証し、必要に応じて助言していきたいと考えている。

（質問）

令和7年に発生した播磨灘での養殖カキの大量死の理由の1つに海中の栄養不足があったかと思うが、カキ養殖のいかだが密集しているところに肥料を散布してはどうか。

（答弁）

不漁の原因は栄養不足と言われているが、カキに関しては単に肥料を散布して栄養を増やすのがよいわけではなく、散布した結果、悪影響を及ぼすプランクトンが増えてしまうこともあり、散布場所については慎重に検討を行っているところである。

（質問）

住宅用宅配ボックス設置支援事業について、令和7年度の申請受付実績はどのようになっているのか。

（答弁）

令和7年4月に申請受付を開始したところ非常に多くの申請があり、7月8日には予算の上限に達したため受付を終了した。

（答弁）

宅配ボックスは比較的低価格な商品も販売されるようになってきていることから、補助金額の上限を2万円から1万円に半減し、補助件数を2倍にするようなことは検討できないのか。

（答弁）

令和8年度は、前年度より300万円増額し800万円の予算を計上しており、まずは令和7年度と同様の補助要件で実施した上で、補助金額の見直しについては令和9年度に向けて対応を検討していきたい。

（要望）

本事業をより多くの市民に活用してもらうことで宅配ボックスの普及を一層促進し、温室効果ガスの排出削減につなげられたい。

（質問）

狩猟免許取得費用等助成事業について、令和7年度の実績はどのようになっているのか。

（答弁）

事業初年度となる令和7年度は、現時点で16人に対し助成を行っている。

（質問）

有害鳥獣捕獲活動における担い手の高齢化が進んでいるが、同事業の今後についてどのように考えているのか。

（答弁）

同事業は現在狩猟免許取得費用の2分の1を補助しているが、令和8年度はほぼ全額補助となる9万7,000円を上限として補助を行い、担い手の確保に努めたいと考えている。

例年どおりの申請件数であれば現在計上している予算で十分賄えると考えているが、もし不足するようであれば令和9年度以降に改めて検討し、補助できない人が1人も出ないような形で進めていきたい。

役職定年者挨拶

**農林水産環境局終了** 11時52分

**農業委員会事務局** 11時52分

**送付議案説明**

・議案第1号 令和8年度姫路市一般会計予算

**質疑** 11時55分

質疑なし

**農業委員会事務局終了** 11時55分

【経済観光委員会（農業委員会事務局）の審査】

**休憩**

**再開**

【経済観光委員会（観光経済局）の審査】

**観光経済局** 14時47分

**送付議案説明**

- ・議案第1号 令和8年度姫路市一般会計予算
- ・議案第13号 令和7年度姫路市一般会計補正予算（第8回）

**質疑** 15時19分

（質問）

新規事業であるスポットワークマッチングサービスの活用促進について、柔軟な就業機会を創出するため、本市独自の就業マッチングプラットフォームをウェブ上に開設し、市内企業等の求人を掲載するとあるが、どのようなものなのか。

（答弁）

一般的にスポットワークとは短時間・単発の就労を内容とする雇用契約の下で働くもので、有名なサービスにタイミーなどが挙げられる。

このようなサービスは応募と同時にマッチングが成立するため、申込み時点で雇用契約が成立してしまう。

本事業では、求人への応募があれば求人企業が選考し採用するかどうか決定してから契約できる形を取るため、働き手をしっかりと確保できる。

（質問）

本事業の今後の見通しについて、どのように考えて

いるのか。

（答弁）

本事業はプラットフォームの運用を行う事業者と連携し、企業・働き手の双方が安全で安心できる仕組みづくりを自治体が行うものであり、令和7年7月から兵庫県淡路県民局が同様のサービスを開始している。

通常のマッチングサイトと同様に、企業は求人を掲載し、双方の希望がマッチングすれば求職者はすぐに働くことができる。

企業によってはスポットワークを活用できる業務の切り分けが難しいことも考えられるため、プラットフォームの運用を行う事業者が決定した際は、姫路商工会議所等を通じて企業向け説明会を開催し、本事業の仕組みを理解してもらった上で利用するかどうか検討してもらいたいと考えている。

（質問）

海外姉妹城研修事業について、派遣される市職員は現地でどのような活動を行う予定なのか。

（答弁）

令和7年11月の副市長等によるウェールズ訪問を契機に、北ウェールズ観光局から、同観光局をはじめ、観光施設やホテルなどで働きながら、同地方の観光や文化について学んでみてはどうかとの提案があった。

当該提案を受け、研修を通じて、職員のコミュニケーション能力の向上や国際的な視野を養うとともに、令和8年6月に開催予定の、コンウィ城に架かるつり橋の完成200周年記念イベントなどにおいて、現地で本市の観光や文化などの魅力を発信し、国際交流のかけ橋となる役割を果たしてもらおうと考えている。

（質問）

どのような職員が派遣されるのか。

（答弁）

事前に人事当局とも調整しており、観光経済局に所属している、英語が話せて、本市に帰国後も十分に経験が活かせるような市職員を選考しようと考えている。

**役職定年者挨拶**

**観光経済局終了**

15時35分

【経済観光委員会の意見取りまとめ】

<b>意見取りまとめ</b>	<b>15時37分</b>
・分科会長報告について 正副分科会長に一任することに決定。	
<b>意見取りまとめ終了</b>	<b>15時38分</b>
<b>閉会</b>	<b>15時38分</b>